

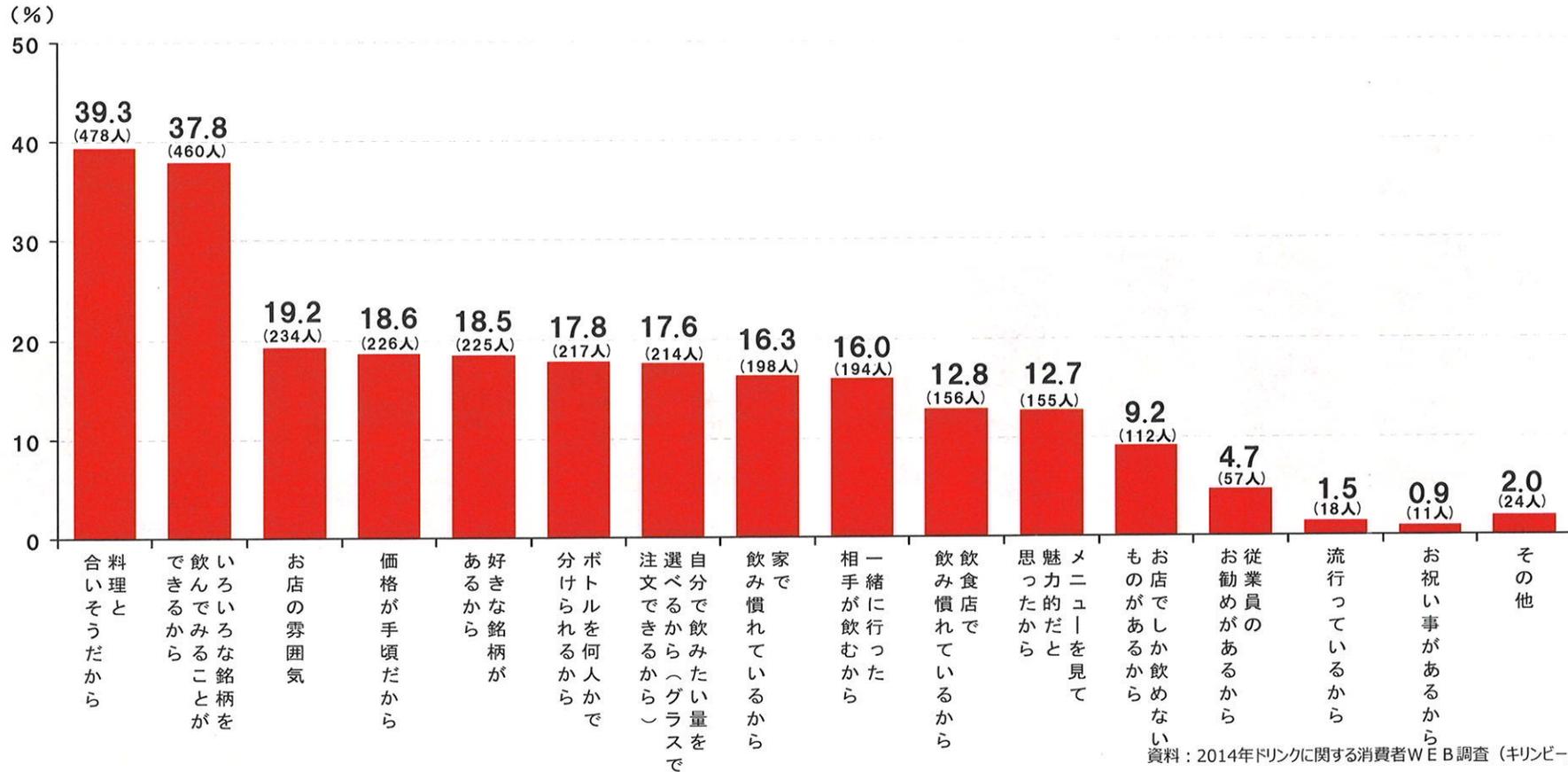
カテゴリ別動向調査：焼酎をむキツカケ

焼酎は、決まった銘柄を飲むというよりは、いろいろと飲んでみたい。

有名な銘柄以外にどのようなものがあるか、が消費者ニーズ。
料理との相性がトップ。

Q. 飲食店で焼酎を飲みたいと思うきっかけは何ですか。当てはまるものを次の中からすべてお選びください。【複数回答】

※データ：N=1216 2014年 飲食店利用者(キリンビール調べ)



資料：2014年ドリンクに関する消費者WEB調査(キリンビール調べ)

※調査対象都市：札幌、宮城、東京、名古屋、大阪、広島、福岡

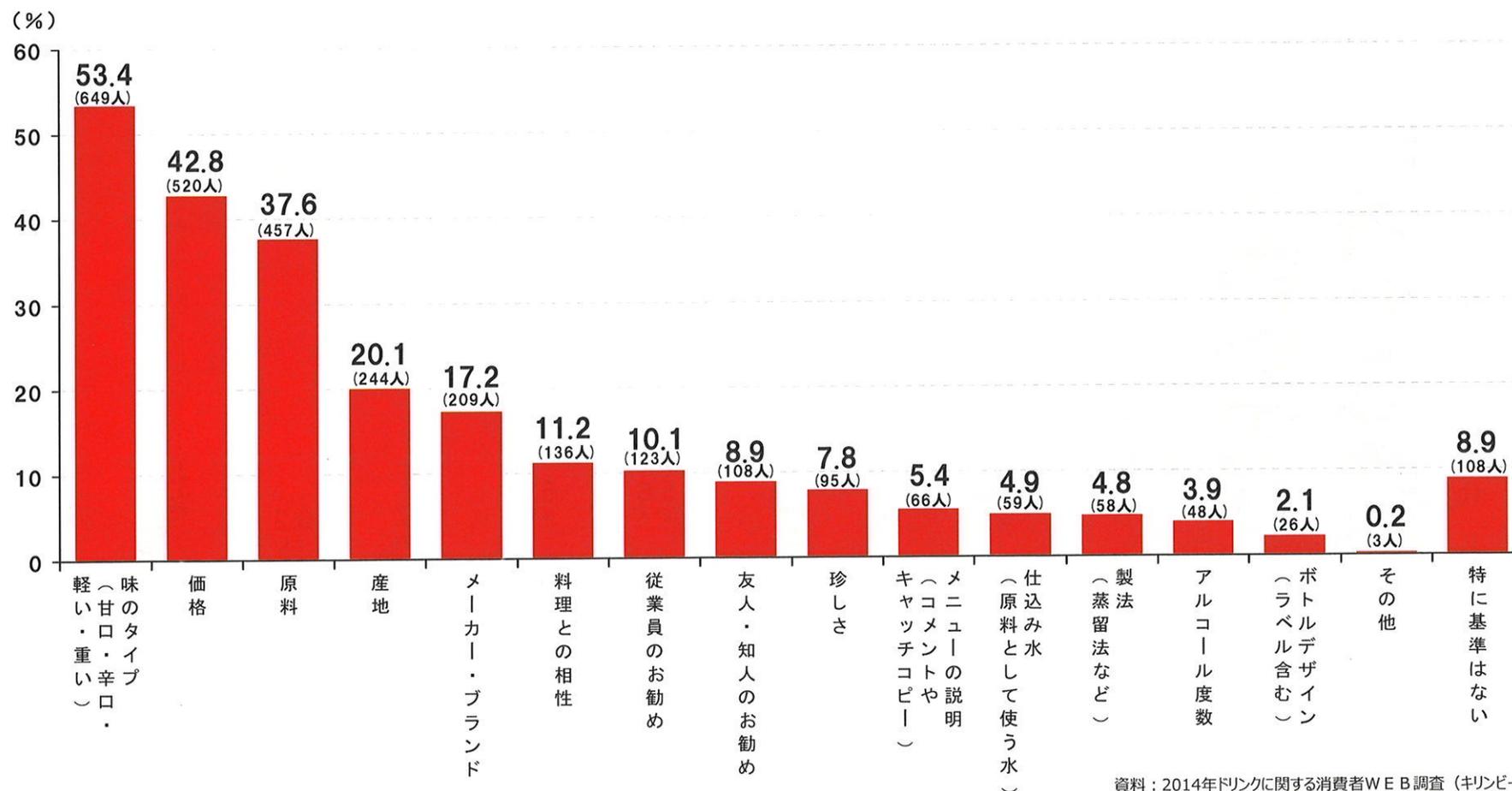
カテゴリ別動向調査：焼酎を選ぶ基準

焼酎は、味のタイプ、価格、原料の3要素を重視。

いろいろな銘柄を飲みたいという要望はあるが、必ずしもブランドや珍しさを重視しているわけではない。

Q. あなたが飲食店で焼酎を注文する時、何を基準に選びますか？当てはまるものを次の中からすべてお選びください。【複数回答】

※データ：N=1216 2014年 飲食店利用者（キリンビール調べ）



資料：2014年ドリンクに関する消費者WEB調査（キリンビール調べ）

※調査対象都市：札幌、宮城、東京、名古屋、大阪、広島、福岡

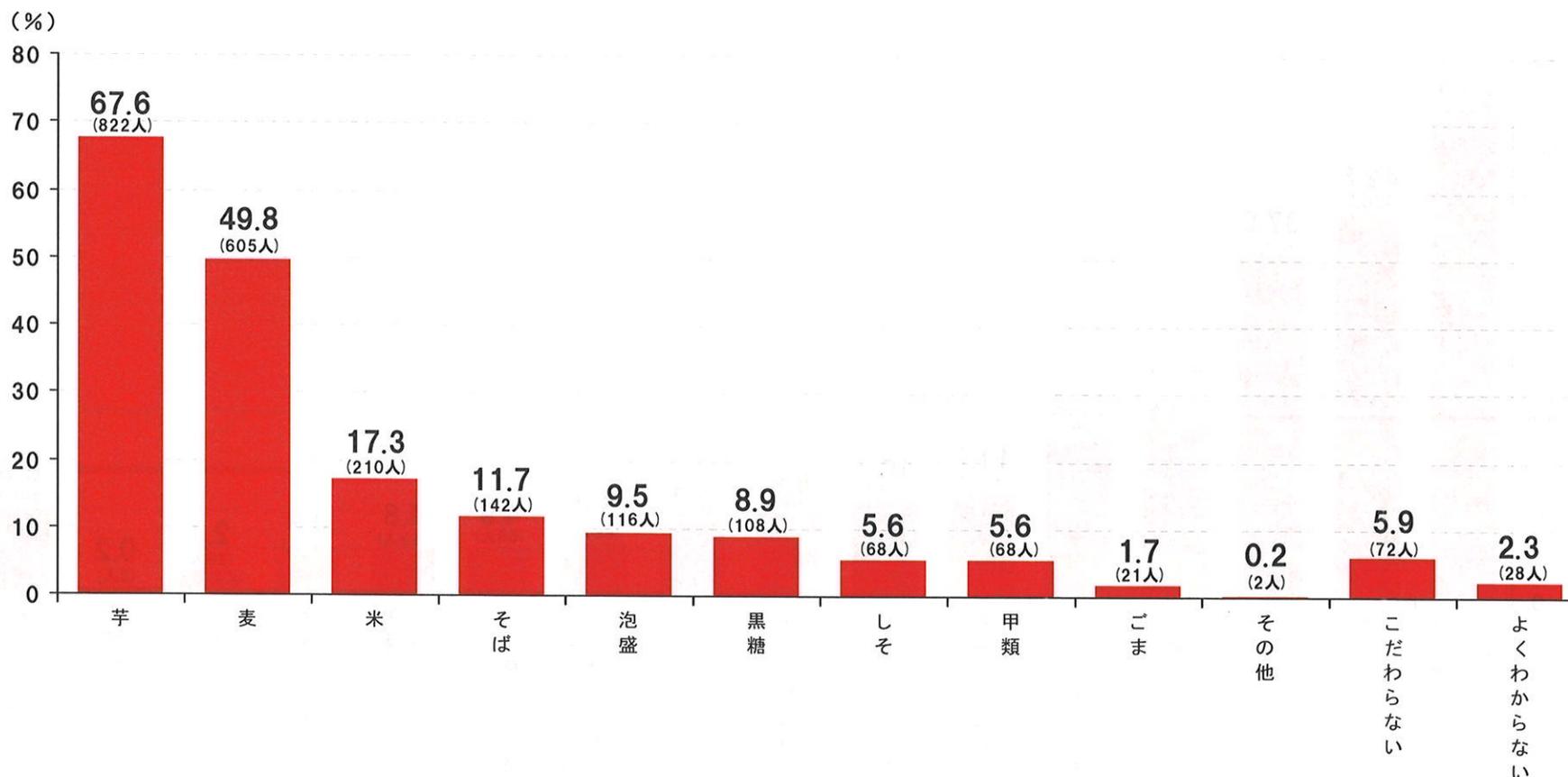
カテゴリ別動向調査：よく飲む焼酎の種類

芋、麦の品揃えで差別化する。もしくは、芋、麦以外で差別化する。

自社ブランド+地焼酎という品揃えで提案する。

Q. あなたが飲食店でよく飲む焼酎の種類は何ですか？【複数回答】

※データ：N=1216 2014年 飲食店利用者(キリンビール調べ)



資料：2014年ドリンクに関する消費者WEB調査(キリンビール調べ)

※調査対象都市：札幌、宮城、東京、名古屋、大阪、広島、福岡

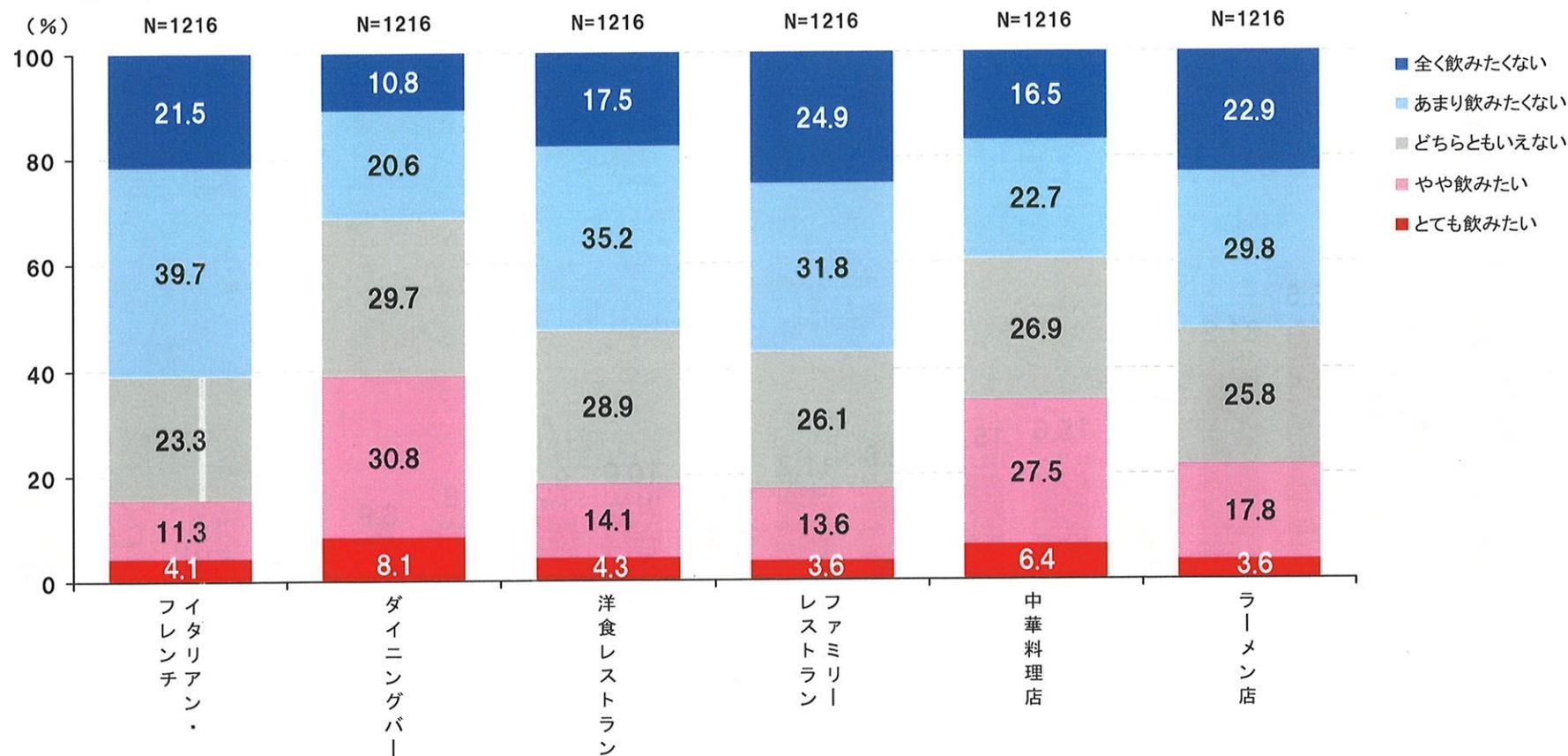
カテゴリ別動向調査：焼酎を飲みたい業態

焼酎は、ダイニングバー、中華料理店でもニーズはある。

焼酎は料理との相性よりは、店の雰囲気に影響を受ける。

Q. あなたは、次に挙げる業態のお店で焼酎を飲みたいと思いますか。【単一回答】

※2014年 飲食店利用者(キリンビール調べ)



資料：2014年ドリンクに関する消費者WEB調査(キリンビール調べ)
 ※調査対象都市：札幌、宮城、東京、名古屋、大阪、広島、福岡